

厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）  
「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」班  
分担研究報告書

病原体検出マニュアルの改訂

研究代表者 宮崎義継 国立感染症研究所真菌部 部長

研究協力者 梅山 隆 国立感染症研究所真菌部  
福田恵子 国立感染症研究所真菌部

研究要旨 国立感染症研究所と全国の地方衛生研究所とで相互に補完協力して作成されている病原体検出マニュアルは、病原体検査を行う上で多くの地衛研に参考にされているものであり、精度の高い病原診断を行うためにも、最新の情報を継続的に取り入れる必要がある。本研究では、衛生微生物技術協議会レファンレンス委員会からの要望に沿い、感染研ホームページに掲載されている病原体検出マニュアルの各疾病の更新日を再調査し、更新年月をホームページに反映させた。参照する病原体検出マニュアルが最新か否かが明確になり、病原体検査の精度の維持・向上への貢献が期待できる。

#### A. 研究目的

多くの地方衛生研究所（地衛研）が病原体検査を行う上で参考にしている病原体検出マニュアルは、全国の地衛研と国立感染症研究所（感染研）とが共同で作成しているものであり、感染症対策に係る行政検査における大きな根拠となっている。感染症法に定められた感染症について病原体検出マニュアルが作成されており、マニュアルの使用と評価を繰り返し、科学の進歩にあわせて内容を改善していくことが常に求められている。本研究では、更新の頻度と時期を明確にするために、感染研ホームページで公開している病原体検出マニュアルの更新日を確認し、全国の地衛研における病原体検査の精度の維持・向上に貢献することを目的とする。

#### B. 研究方法

感染研の病原体検出マニュアルのホーム

ページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/reference.html>

に掲載されている各病原体検出マニュアルについて、6 疾患のアップデートを行った。また、ホームページに掲載している 60 疾患のマニュアルの pdf ファイル、それぞれの最終更新年月を調査し、ホームページに反映させた。

#### C. 研究結果

平成 29 年度に、病原体担当から提出され、アップデートを行った病原体検出マニュアルは、風しん、クリプトスポリジウム症・ジアルジア症、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎であった。

掲載されている病原体検出マニュアルの更新年月を調査し、図のように、上記ホームページに反映させた。



図：感染研ホームページへの更新年月の反映（例）

#### D. 考察

継続的に病原体検出マニュアルを更新する必要があり、今年度もアップデートを行った。従来のホームページでは、病原体検出マニュアルが最新かどうかは、pdf ファイルをダウンロードし、内容を確認する必要があったが、今回の反映作業により、参照する病原体検出マニュアルの最終更新時期が明確になり、マニュアルの信頼性が向上し、全国の地衛研での病原体検査への貢献が期待できる。

#### E. 結論

病原体検出マニュアルのアップデートおよび更新年月のホームページ上への反映を行った。科学の進歩に合わせた病原体検査の精度の維持向上が期待できる。引き続き改訂や追加が必要な疾病について病原体検出マニュアルを整備する必要がある。

#### F. 健康危険情報

該当なし

#### G. 研究発表

該当なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

該当なし